

製材業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	14~15	工場敷地内で作業中、泥で足を滑らせ地面においてあるU字溝に足がぶつかり、右足親指骨折した。	32~29	10
4	14~15	仕掛品を搬送装置で搬送するとき、中間の傾斜チェンコンベアのモーターのチェーンが脱輪したので修復し、現場から離れる際にモーター取り付け台角に右大腿部を強く打ち、3cm位切傷する。	88~9	1
6	14~15	住宅建築現場へ木材の搬入作業時に、荷下ろしを終了後、荷台より地面へ降りる際に、左手を荷台に置いて跳ね降りた時に、荷台の床板止めビスに左手薬指に付けていた指輪が引っかかり、同時に体重がかかった為に負傷した。	29~49	30
6	9~10	工場内において、踏み台（高さ約70cm）の上に乗リサンダー作業中、その作業が終わったため踏み台から下りようとしたところ、足を滑らせ、そのまま後ろに倒れそうになったので、咄嗟に床に左手を着いた際に負傷した。	57~49	30
7	10~11	カンナ掛けの台へ10.5角をのせて押しながら流していく作業中に、地面より10センチくらいの上り台より右足を踏み外し、角材の角に左わき腹を強打し負傷した。	43~9	1
7	15~16	木材置場において、商品である木材を高さ2mのところから取り出すとき、足場にしていた木材がぐらついたため、危険を感知し飛び降りたところ、右足踵を負傷した。	46~29	10
10	8~9	工場でフォークリフトのバケットに入れていた製品を本人がまとめて結束していたところ、社長がフォークリフトのバケットを固定せずに移動した際、リフトのツメ	72~	1

		からバケットが台車に滑り落ち、その台車が動いて台車と機械の間に左足をはさまれ負傷した。		9
12	15~16	帯鋸製材機で板を左に倒す部品の高さ調整をしている際、高さ1mのローラー台の端で作業をしているとき、足を滑らせ落ちそうになったとき、右足太ももがダンパーの角に当たり負傷した。	43	30 ~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)